



医療 ISAC Security Lecture 2021

#006

パネルディスカッション

「ランサムウェア攻撃に備えて病院関係者がすべき準備と取るべき行動」



日時 : 2021年9月21日(火) 18:00~19:00 Google Meet によるライブ配信

モデレータ: 深津 博 医療 ISAC 代表理事・愛知医科大学病院 医療情報部長

パネリスト: 山崎文明 医療 ISAC 理事・情報安全保障研究所 主席研究員

舟橋 信 医療 ISAC 理事・株式会社セキュリティ工学研究所 取締役

江原悠介 医療 ISAC 理事・PwC あらた有限責任監査法人

※モデレータ・パネリストは変更になる可能性があります。

共催 : 特定非営利活動法人デジタル・フォレンジック研究会

申込定員 : 100名(定員になり次第参加申込を終了いたします)

参加資格 : 医療 ISAC 会員様/デジタル・フォレンジック研究会会員様

受講料 : 無料

概要

今回は、これまでの講演ベースのオンラインレクチャーから趣向を変えて、突然ふりかかるランサムウェア攻撃に備えて事前に準備しておくこと、およびインシデント発生(発見)時に病院関係者が取るべき行動を、医療 ISAC 理事らによるパネルディスカッション形式で解きほぐします。

医療情報部を預かる立場からの視点、ランサムウェアやマルウェアの攻撃手法などの研究者からの視点、犯罪行為に対応する上での視点、およびシステム管理態勢を監査する立場からの視点など、あらゆる方向からのチェックポイントを考えます。

さらに、後半は参加者の皆様にもディスカッションに加わっていただき、サイバーセキュリティに関する取り組みや懸念されていることなどの意見交換、あるいはご質問などに各理事がお答えいたします。

